

戦気 NO-28

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



4月27日 Raging Battle準決勝戦 斉藤司 2R - TKO勝利!

4月27日、レイジングバトル準決勝戦に斉藤司が登場した。レイジングバトルというのは通常8ラウンド以上を戦うA級選手が4ラウンドのトーナメントで戦う賞金マッチで、優勝賞金=50万円、MVP=20万円、KO賞・1R&2R=10万円、3R&4R=5万円、が勝者に贈られる。司は60kg級で出場した。出場選手たちは通常の半分のラウンドで戦うためスタミナ配分がならず、最初からエンジン全開のハイレベルで激しい戦いが展開される。司の対戦相手は佐々木悟選手(ヨネクラジム: 7勝4KO4敗2分)。

1ラウンド中盤に司は佐々木選手の巻き込むような左ストレートを右テンプルに貫き、おもわずグローブをキャンパスにつきプロ初めのダウンを喫した。しかし後半盛り返しゴング間に強烈な右ストレートをヒットさせ佐々木選手をダウン寸前に追い込んだ。

2ラウンドに入っても佐々木選手にダメージが残っていた。司は意識的にアウトボクシングをしており、中盤の1分18秒、司のナックルの返った右ストレートが佐々木選手を捉え、佐々木選手は前のめりにキャンパスに崩れ落ちた。と同時にレフェリーはノーカウントで両手を交差させ試合を止めた。司はKO賞金10万円を獲得し6月25日の決勝戦へ進んだ。

斉藤司選手の言葉

フェザー級より3kg重いクラスで戦ったが普段ジム練習で重い階級とやっているのだから気にならなかった。全ての試合がお母さんと家族を幸せにするために世界チャンピオンを目指す通過点で、このトーナメントも優勝とMVPを獲ります。



シリーズ: 選手紹介

大橋 実(22歳)

生年月日: 1988年4月8日

出身地: 香川県防府市

階級: ミニマム級

デビュー: 2009年4月24日

戦歴: 3戦: 1勝2敗

自分の目標: チャンピオン

好きな言葉: 不言実行

尊敬する人: 三谷大和会長

好きな女性のタイプ: ツンデレな人

ひとこと: 頑張りますので、応援よろしくお願いします。



ごんごちゃんを見た!!

人間は誰でも過去の自分と決別し変わることが出来ます。どうすれば変わることが出来るのか?それは頭で考えているだけでは起こりません。必ず行動が伴います。誰かに言われてやるのではなく、自分自身で考え自分が本当にやりたいことを実行することによって物事に主体的になれ、自然と前向きな気持ちが湧くのです。主体的に行動できる人間になるための特効薬はありません。物事を論理的に考えていく訓練を意識的に実行していくことが判断力を強めていく唯一の道です。自分の思考方法と行動力がその人間を作っていくという意味を常に考えていく必要があります。計画 行動 確認 修正の流れを繰り返すことにより、あなたも螺旋状に前進し変化していくのです。その結果として以前の自分と変わります。



後楽園ホール

第67回 東日本新人王トーナメント戦 佐藤ヒロト 判定勝ち(4/16)



4月16日、スーパーライト級1回戦に佐藤ヒロトが登場した。対戦相手は田中聡太郎選手(角海老宝石ジム4戦3勝2KO1敗)お互いオーソドックスタイプである。ヒロトは落ち着いていた。三谷会長の指示をよく聞いて戦っている。ジャブジャブ、ワンツの基本パターンを忠実にアウトボクシングを展開している。ジャブがよく当たるしストレートの伸びもいい。左ショートフックもたびたびヒットする。リングを大きく回って距離を取りながらジャブジャブ、ワンツである。2、3ラウンドとこのような試合展開が進み、最終4ラウンドに入るとヒロトは終始パンチを出し続ける。体力で相手をロープに押し込めパンチを振る。結果は2:1(37:39.39:38.39:38)の判定勝利で2回戦へ進出した。ヒロトはスタミナ十分でナイスファイトだった。

ヒロトの言葉

会長の指示どおり動きました。みなさんの御声援で勝つことが出来ました。これからも頑張りますので声援よろしくおねがいします。ありがとうございました。

三谷会長のコメント

ヒロトはよかったね。ヒロトはジャブからのワンツで基本通り動いた。ヒロトは鬼のスタミナがあるし、よく練習しているので4ラウンドはゴーサインを出した。相手は追い足がなかったし自分のボクシングを出せなかったね。

司は1ラウンドにダウンしたが冷静だった。今回はいつもより3kg上の階級で戦ったわけだが2ラウンドでTKO勝ちして十分通用している。特に右ストレートの切れが良かったね。この勢いで6月の決勝戦に勝って優勝だね。

スケジュール

- 5月14日 小橋康晃 東日本新人王1回戦
- 6月03日 林 涼樹 東日本新人王1回戦
- 6月25日 斉藤 司 Raging Battle決勝戦

編集後記

今年もレイジングバトルがスタートしました。タイミングとポイントが合致した時、素晴らしいKOが生まれます。スピードに乗ったパンチが交差し対戦相手の身体を見事に捉えたとき、瞬時に崩れ落ちる選手を見ているとダメージの大きさをあらためて感じます。